



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年11月6日

上場会社名 株式会社AOKIホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 8214 URL http://www.aoki-hd.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 青木 彰宏
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長 (氏名) 田村 春生 (TEL) 045-941-1388
 四半期報告書提出予定日 平成27年11月9日 配当支払開始予定日 平成27年12月7日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	81,704	4.5	3,681	46.4	3,620	44.6	2,157	48.8
27年3月期第2四半期	78,213	6.6	2,515	△23.1	2,504	△31.4	1,449	△25.5

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 2,135百万円(4.0%) 27年3月期第2四半期 2,052百万円(0.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	23.80	—
27年3月期第2四半期	15.90	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第2四半期	221,370	138,263	62.5
27年3月期	230,166	139,675	60.7

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 138,263百万円 27年3月期 139,675百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	18.00	—	18.00	36.00
28年3月期	—	20.00			
28年3月期(予想)			—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	191,050	3.9	20,000	5.1	19,900	5.2	11,300	10.9	125.09

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

詳細は、4ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期2Q	90,649,504株	27年3月期	91,249,504株
② 期末自己株式数	28年3月期2Q	666,960株	27年3月期	66,492株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期2Q	90,635,763株	27年3月期2Q	91,183,996株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビューが実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については、添付資料4ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算説明会資料について)

・当社は、平成27年11月13日(金)に機関投資家・アナリスト向け決算説明会を開催する予定です。この決算説明会で配布した資料等については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

	頁
1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境が改善し緩やかな回復基調が継続する一方、海外経済の減速などから先行き不透明な状況で推移しております。また、個人消費につきましては所得水準の伸び悩みや物価の上昇等により、一部で弱い動きが見られるなど足踏み状態となっております。

このような環境のなかで、当社グループは各事業において下記のような諸施策を実施した結果、売上高は817億4百万円（前年同期比4.5%増）、営業利益は36億81百万円（前年同期比46.4%増）、経常利益は36億20百万円（前年同期比44.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は21億57百万円（前年同期比48.8%増）と増収、大幅増益になりました。

セグメントごとの業績は、以下のとおりです。

(ファッション事業)

AOKIでは、「本当に洗えるスーツ」や信州大学繊維学部との産学協同開発商品「ウルトラクールスーツ」等、夏の機能的商品を強化いたしました。また、レディスは、ビジネスシーン以外にも着回しができる「オフィスカジュアルアイテム」やデザイン性と機能性を両立したサマーフォーマルを全店で展開する等の品揃えを拡充いたしました。店舗面では、未出店県であった宮崎県への1店舗を含め4店舗を新規出店した一方、移転等による2店舗を閉鎖した結果、当第2四半期末の店舗数は559店舗（前期末557店舗）となりました。

ORIHICA（オリヒカ）は、夏の軽装化に対応したジャケット・スラックススタイルを提案するとともに、9月にビジネススタイルの多様化に対応したORIHICAオリジナル「THE 3rd SUITS（サードスーツ）」を発売いたしました。店舗面では、10店舗を新規出店した一方、営業効率改善のため6店舗を閉鎖した結果、当第2四半期末の店舗数は145店舗（前期末141店舗）となりました。

これらの結果、新規出店効果等により、売上高は446億97百万円（前年同期比2.4%増）、営業損失は経費のコントロール等により1億37百万円（前年同期は9億69百万円の営業損失）となりました。

(アニヴェルセル・ブライダル事業)

ゲストハウスウェディングスタイルの挙式披露宴施設を展開しているアニヴェルセル株式会社は、既存店の活性化として多様化するウェディングのニーズやトレンドに応えるため2施設のリニューアルを実施いたしました。また、施設ごとの特徴を活かした販促・PRを実施するとともに、オリジナルジュエリーやカスタムメイドドレスの販売及びオリジナルティアラのレンタルをはじめとした衣裳アイテムを強化いたしました。

これらの結果、売上高は149億78百万円（前年同期比0.7%減）、営業利益は売上総利益率の改善及び経費のコントロール等により18億41百万円（前年同期比3.5%増）となりました。

(カラオケルーム運営事業)

株式会社ヴァリックのカラオケルーム運営事業は、有名アーティストや人気キャラクター等とのコラボレーションキャンペーンを実施するとともに、季節限定メニューの提案強化及びコンセプトルームの拡充等を目的とした17店舗のリニューアルを実施し、既存店の活性化に注力いたしました。また、9月には最新映画を個室で鑑賞することができる「プライベートシネマ」の新サービスをスタートいたしました。店舗面では6店舗を新規出店した結果、当第2四半期末の店舗数は175店舗（前期末169店舗）となりました。

これらの結果、売上高は87億30百万円（前年同期比4.4%増）、営業利益は4億82百万円（前年同期比11.8%減）となりました。

(複合カフェ運営事業)

株式会社ヴァリックの複合カフェ運営事業は、期間限定の季節メニューの提案強化やダーツキャンペーンの実施及び快活アプリを導入するとともに、11店舗のリニューアルを実施し、既存店の活性化に注力いたしました。店舗面では、駅前立地の女性専用エリアを導入した店舗等、積極的に21店舗を新規出店した結果、当第2四半期末の店舗数は281店舗（前期末260店舗）となりました。

これらの結果、新規出店効果と既存店が好調に推移したこと等により、売上高は133億22百万円（前年同期比19.8%増）、営業利益は13億51百万円（前年同期比27.2%増）と大幅増収増益 になりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ87億95百万円減少し、2,213億70百万円となりました。

流動資産は、たな卸資産が新規出店等により26億83百万円増加した一方、現金及び預金が設備投資や法人税等の支払い等により69億33百万円、売掛金が季節的要因等により56億60百万円減少したこと等により、前連結会計年度末と比べ102億53百万円減少いたしました。固定資産は、有形固定資産が新規出店等により11億86百万円増加したこと等により、前連結会計年度末と比べ14億57百万円増加いたしました。

(負債)

流動負債は、短期借入れを30億円実施した一方、買掛金が季節的要因等により53億20百万円、未払法人税等が法人税等の支払いにより24億9百万円及び未払金等のその他が30億12百万円減少したこと等により、前連結会計年度末と比べ79億57百万円減少いたしました。固定負債は、リース債務等のその他が4億99百万円増加したこと等により、前連結会計年度末と比べ5億73百万円増加いたしました。

(純資産)

純資産の部は、利益剰余金が親会社株主に帰属する四半期純利益及び剰余金の配当により5億16百万円増加した一方、自己株式の取得及び消却により資本剰余金が9億23百万円減少し、自己株式が9億81百万円増加したこと等により連結会計年度末と比べ14億11百万円減少しております。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物(以下、「資金」といいます。)は、前連結会計年度末と比べ69億33百万円減少し、222億92百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により使用した資金は、21億13百万円(前年同期は19億46百万円の収入)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益が32億72百万円、減価償却費が38億3百万円及び減損損失が3億47百万円となった一方、仕入債務の減少額が53億20百万円及び法人税等の支払額が49億37百万円となったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により使用した資金は、30億53百万円(前年同期は95億87百万円)となりました。これは主に、新規出店等に伴う有形固定資産の取得による支出が30億9百万円となったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により使用した資金は、17億67百万円(前年同期は83億73百万円の収入)となりました。これは主に、短期借入れを30億円実施した一方、長期借入金の約定返済による支出が12億25百万円、自己株式の取得による支出が19億5百万円及び配当金の支払額が16億41百万円となったことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間の業績については、売上高は予想を下回り、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益は予想を上回って推移いたしました。

通期の連結業績予想については、景況感や市場環境、特にファッション事業の下期の比重が高いこと、アニヴェルセル・ブライダルの受注がやや苦戦していること並びに各事業の出店計画及び経費計画等の見直しを行った結果、平成27年10月29日に公表しましたとおり売上高を修正し、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益は修正していません。新規出店は、ファッション事業で25店舗を24店舗に、複合カフェ運営事業で30店舗を36店舗に期初から変更いたしました。

なお、セグメント別の通期業績予想についても、以下のとおり見直しを行っております。

【平成28年3月期のセグメント別予想】

	ファッション 事業	アニヴェル セル・ブライ ダル事業	カラオケ ルーム 運営事業	複合カフェ 運営事業	連結
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
売上高	116,100	30,300	18,250	26,430	191,050
前期比(%)	103.0	98.0	104.1	116.4	103.9
セグメント利益	11,800	4,100	1,580	2,170	20,000
前期比(%)	109.5	97.5	92.3	120.1	105.1

(注) セグメント利益は営業利益ベースの数値であり、各セグメントの合計と連結との差異は、連結上の調整額です。

※ 上記の業績予想は、現時点で当社が入手している情報等に基づいて判断したものであり、実際の業績は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を、第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間については、四半期連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	29,226	22,292
売掛金	8,991	3,330
たな卸資産	26,476	29,159
その他	9,112	8,779
貸倒引当金	△37	△46
流動資産合計	73,769	63,516
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	58,959	59,811
土地	37,095	37,013
その他(純額)	12,253	12,669
有形固定資産合計	108,308	109,494
無形固定資産	6,550	6,617
投資その他の資産		
差入保証金	8,333	8,194
敷金	20,176	20,293
その他	13,068	13,294
貸倒引当金	△40	△40
投資その他の資産合計	41,538	41,741
固定資産合計	156,396	157,854
資産合計	230,166	221,370
負債の部		
流動負債		
買掛金	19,867	14,546
短期借入金	—	3,000
1年内返済予定の長期借入金	4,450	4,250
未払法人税等	3,789	1,379
賞与引当金	1,735	1,764
役員賞与引当金	105	60
その他	13,450	10,438
流動負債合計	43,397	35,439
固定負債		
長期借入金	35,325	35,300
役員退職慰労引当金	1,838	1,783
ポイント引当金	958	903
退職給付に係る負債	382	421
資産除去債務	4,773	4,958
負ののれん	54	40
その他	3,761	4,260
固定負債合計	47,093	47,667
負債合計	90,491	83,107

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	23,282	23,282
資本剰余金	28,757	27,833
利益剰余金	86,658	87,174
自己株式	△45	△1,026
株主資本合計	138,654	137,264
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,229	1,162
退職給付に係る調整累計額	△208	△163
その他の包括利益累計額合計	1,021	998
純資産合計	139,675	138,263
負債純資産合計	230,166	221,370

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	78,213	81,704
売上原価	43,645	45,517
売上総利益	34,567	36,187
販売費及び一般管理費	32,052	32,505
営業利益	2,515	3,681
営業外収益		
受取利息	52	52
受取配当金	110	103
不動産賃貸料	309	305
負ののれん償却額	21	21
その他	129	137
営業外収益合計	622	620
営業外費用		
支払利息	146	166
不動産賃貸費用	270	277
その他	216	237
営業外費用合計	633	681
経常利益	2,504	3,620
特別損失		
減損損失	417	347
特別損失合計	417	347
税金等調整前四半期純利益	2,086	3,272
法人税、住民税及び事業税	1,225	1,176
法人税等調整額	△589	△61
法人税等合計	636	1,115
四半期純利益	1,449	2,157
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,449	2,157

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
四半期純利益	1,449	2,157
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	548	△66
退職給付に係る調整額	53	44
その他の包括利益合計	602	△22
四半期包括利益	2,052	2,135
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,052	2,135
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,086	3,272
減価償却費	3,538	3,803
減損損失	417	347
のれん償却額	6	6
負ののれん償却額	△21	△21
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	24	△54
ポイント引当金の増減額(△は減少)	10	△55
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	67	107
受取利息及び受取配当金	△162	△156
支払利息	146	166
売上債権の増減額(△は増加)	6,949	5,660
たな卸資産の増減額(△は増加)	△2,278	△2,683
仕入債務の増減額(△は減少)	△5,057	△5,320
未払消費税等の増減額(△は減少)	570	△2,610
その他	140	△846
小計	6,440	1,616
利息及び配当金の受取額	136	131
利息の支払額	△145	△166
法人税等の支払額	△5,738	△4,937
法人税等の還付額	1,253	1,243
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,946	△2,113
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△8,897	△3,009
無形固定資産の取得による支出	△779	△460
敷金及び保証金の差入による支出	△844	△417
信託受益権の純増減額(△は増加)	902	780
その他	31	52
投資活動によるキャッシュ・フロー	△9,587	△3,053
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	—	3,000
長期借入れによる収入	16,000	1,000
長期借入金の返済による支出	△5,048	△1,225
リース債務の返済による支出	△940	△995
自己株式の取得による支出	△1	△1,905
配当金の支払額	△1,637	△1,641
財務活動によるキャッシュ・フロー	8,373	△1,767
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	△0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	732	△6,933
現金及び現金同等物の期首残高	22,619	29,226
現金及び現金同等物の四半期末残高	23,351	22,292

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

自己株式の取得及び消却

当社は、平成27年5月8日開催の取締役会決議に基づき、自己株式1,200千株の取得及び600千株の消却を行いました。この結果、当第2四半期連結累計期間において資本剰余金が923百万円減少及び自己株式が981百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末において資本剰余金及び自己株式がそれぞれ27,833百万円及び1,026百万円となっております。

(セグメント情報等)

前第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	ファッション 事業	アニヴェル セル・ブラ イダル事業	カラオケ ルーム 運営事業	複合カフェ 運営事業	合計		
売上高							
外部顧客への売上高	43,656	15,080	8,357	11,119	78,213	—	78,213
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4	10	2	—	17	△17	—
計	43,660	15,090	8,359	11,119	78,230	△17	78,213
セグメント利益 又は損失(△)	△969	1,778	547	1,063	2,419	95	2,515

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額95百万円には、セグメント間取引消去2,161百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,065百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社の管理部門等の費用です。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「ファッション事業」、「カラオケルーム運営事業」及び「複合カフェ運営事業」の各セグメントにおいて、店舗の移転が決定し回収が見込めなくなった又は損益が継続的にマイナスとなっている営業店舗及び回収可能価額が帳簿価額を下回っている遊休資産について減損損失を認識いたしました。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においてはそれぞれ26百万円、269百万円及び120百万円です。

当第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	ファッション 事業	アニヴェル セル・ブラ イダル事業	カラオケ ルーム 運営事業	複合カフェ 運営事業	合計		
売上高							
外部顧客への売上高	44,693	14,960	8,728	13,321	81,704	—	81,704
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4	17	1	0	23	△23	—
計	44,697	14,978	8,730	13,322	81,727	△23	81,704
セグメント利益 又は損失(△)	△137	1,841	482	1,351	3,539	142	3,681

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額142百万円には、セグメント間取引消去2,195百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,052百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社の管理部門等の費用です。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「ファッション事業」、「カラオケルーム運営事業」及び「複合カフェ運営事業」の各セグメントにおいて、店舗の閉鎖が決定し回収が見込めなくなった又は損益が継続的にマイナスとなっている営業店舗について減損損失を認識いたしました。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においてはそれぞれ66百万円、133百万円及び147百万円です。